

編集室

* 本稿を執筆している1月11日現在、1都3県に緊急事態宣言が出されており、昨年来のコロナはいまだ終息の兆しがありません。医療機関の方々には必死に御対応頂いており、本当に頭が下がる思いです。

* こうした中、私たちの専門分野であるICTを使って医療現場を助けようという事例も多々あります。例えば、テレビ会議ソフトウェアとスマートグラスを組み合わせることで、集中治療室の医師の視点をチームで共有したり記録したりすることができます。また、通信機能付きのバイタルセンサを使って、患者の各種数値を離れたところからモニタリングしながら、リハビリ指導をすることができます。更に医療とは少し離れますが、外出を控えるためにデリバリーの活用が増えており、自動デリバリーロボットのトライアルも急激に増えてきました。

これらは、従来から存在した技術ではありますが、コロナ禍となって一気にニーズが高まり、活用が広がっていると言えます。逆に言うと、以前から綿々と研究開発されていたからこそ、急なニーズにも対応できたということですね。

* 今回のパンデミックもそうですが、東日本大震災、東南海地震、富士山噴火等、長い歴史の中では周期的に必ず発生している災害があります。これらに対し、「電子情報通信」学で貢献できることは多いはずですが、大事なのは事前の備え、先取りした研究開発です。「災害は忘れたころにやってくる」ものですが、研究開発のこの姿勢だけは絶対に忘れずに、今後も取り組んでいきたいものです。

(編集特別幹事 川田亮一)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾(著作物の転載、翻訳等)に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請: <https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail: permission@ieice.org

Permission request form: <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>